報　道　資　料
平成26年2月20日

糸魚川市
平成26年度当初予算案のポイント

平成２６年度は、合併１０年目の集大成の年であることに加え、北陸新幹線開業の年でもあり、新たなスタートとなる大きな節目として、次の時代につなげる持続可能なまちづくりに向けて、合併効果を検証し、取り組むべき課題を整理、再検討し、事業をステップアップさせる年となります。

特に、新幹線開業については、糸魚川市が長年取り組んできた大きなプロジェクトであり、魅力ある駅周辺施設整備を仕上げるとともに、来訪者への魅力づくりや新幹線開業による利便性の確保に努め、交流人口の拡大等、市勢の発展に結び付けていく必要があります。

将来を見据えながら、効果的･効率的な事業の推進と、限られた財源の有効活用を念頭として、特に次の３項目を重点施策としました。

Itoigawa Geopark

重　点　施　策

●新幹線開業を活かす活気あるまちづくり

- 交流人口拡大に向けたジオパーク戦略プロジェクトの推進
- 若者定住に向けた地元企業の成長支援と企業誘致
- 魅力ある駅周辺施設の整備と受け入れ体制の充実

●力を合わせ持続可能なまちづくり

- チーム糸魚川による協働の推進
- 廃棄物処理の適正化
- 地域防災体制の確立と住民意識の向上
- 地域医療体制の充実と健康づくりの推進

平成27年春
北陸新幹線糸魚川駅、誕生。
いとぃかわ新･感･鮮

●明日を担う人を育むまちづくり

- 子ども一貫教育の実践推進と子育て環境の充実
- 公民館や文化･スポーツ施設の整備充実
- 地域づくりプラン策定と活動支援

翠の交流都市　さわやか　すこやか　輝きのまち

1．予算規模

単位：千円

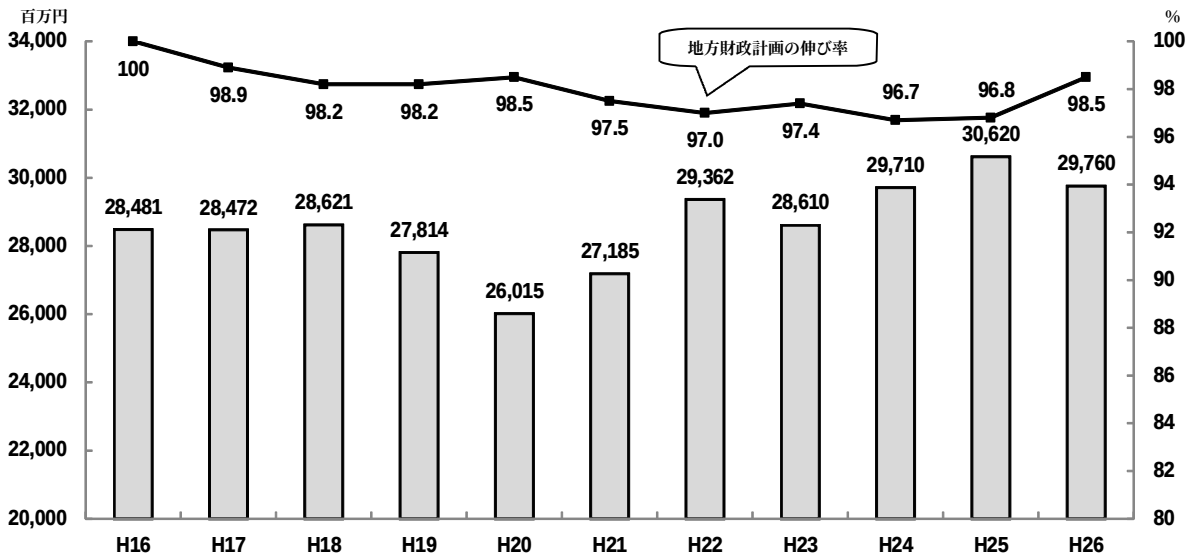
区　　分	平成26年度	平成25年度	増減額	伸率（%）
一　般　会　計	29,760,000	30,620,000	△860,000	△2.8
特　別　会　計	17,144,700	16,987,700	157,000	0.9
国民健康保険事業	5,172,000	5,295,700	△123,700	△2.3
国民健康保険診療所	630,600	637,300	△6,700	△1.1
後期高齢者医療	1,055,200	1,083,200	△28,000	△2.6
介護保険事業	5,818,200	5,840,200	△22,000	△0.4
柵口温泉事業	507,000	250,000	257,000	102.8
有線テレビ事業	203,000	245,000	△42,000	△17.1
公共下水道事業	2,671,200	2,725,500	△54,300	△2.0
集落排水・浄化槽事業	378,100	320,600	57,500	17.9
簡易水道事業	709,400	590,200	119,200	20.2
企　業　会　計	2,466,100	2,915,200	△449,100	△15.4
合　　計	49,370,800	50,522,900	△1,152,100	△2.3

※ 集合支払特別会計は、各会計での支出と重複するため除いた。

【一般会計当初予算額の推移】

単位:千円

区分＼年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
当初予算額（ア）	**29,362,000**	**28,610,000**	**29,710,000**	**30,620,000**	**29,760,000**
対前年伸率（%）	8.0	△2.6	3.8	3.1	△2.8
制度資金融資預託金(イ)	3,865,338	2,884,077	2,541,940	2,175,380	2,194,112
市債借換に伴う元利償還元金(ウ)	252,278	63,580	30,100	310,500	124,200
災害復旧費(エ)	124,138	124,121	167,992	199,202	239,121
実質予算額 (ア)−((イ)+(ウ)+(エ))	**25,120,246**	**25,538,222**	**26,969,968**	**27,934,918**	**27,202,567**
対前年伸率（%）	3.0	1.7	5.6	3.6	△2.6



翠の交流都市　さわやか　すこやか　輝きのまち

2．歳入の概要

（以下、増減は前年度当初予算対比の額）

■市税は、5千8百万円（1.0%）増の61億2千8百万円

・法人市民税　9,800万円の増・・・・・前年度の納税状況、景気動向などにより推計
・固定資産税　2,711万円の減・・・・・配分資産の減価、地価の動向などにより推計

■実質的な地方交付税（交付税＋臨時財政対策債）は、2億円(2.1%)増の99億円

・普通交付税　　３億円の増・・・・合併特例債、臨時財政対策債の元利償還金に係る基準財政需要額の増加
・特別交付税　　前年度同額
・臨時財政対策債　１億円の減

■国庫支出金は、14億6千3百万円(43.5%)減の19億円

・都市計画費補助金
　９億4,974万円の減・・・・・糸魚川駅自由通路など駅周辺整備事業の進捗
・学校建設費負担金・補助金
　４億5,699万円の皆減・・・糸魚川小学校、特別支援学校事業などの進捗

■繰入金は、9億4千6百万円(87.2%)増の20億3千万円

・まちづくり基金繰入金　　11億　30万円の増・・・地域の元気臨時交付金積立金の活用

■市債は、10億5千1百万円(18.5%)減の46億3千5百万円

・学校施設整備事業債　　８億8,630万円の皆減
・除雪車両基地建設事業債　　１億9,650万円の減
・新幹線整備事業債　　１億4,760万円の減
・合併特例債　　５億　810万円の増

3．歳出の概要

■人件費は、2千8百万円（0.7%）減の38億8千2百万円

・議員定数の減、特別職退職手当の皆減、一般職の減など

■普通建設事業費は、14億2千8百万円(18.5%)減だが、引き続き高水準の62億9千8百万円

・糸魚川駅周辺整備事業　　19億7,300万円の減
・学校改築等整備事業　　13億8,245万円の減

・糸魚川市民会館リニューアル事業　　12億6,433万円の増
・博物館整備事業　　６億2,000万円の増
・一般廃棄物最終処分場適正化事業　　２億1,575万円の増
・地区公民館施設整備事業　　１億5,959万円の増

■投資及び出資金は、えちごトキめき鉄道株式会社出資金2億1千2百万円の皆増

■繰出金は、3億7千4百万円（10.5%）増の39億2千6百万円

・柵口温泉事業特別会計繰出金　　２億2,871万円の増・・・権現荘リニューアル事業

4. 主な重点施策等への予算配分

(単位：千円)

◆新幹線開業を活かす活気あるまちづくり	851, 929
・新幹線開業記念事業	16,000
・新幹線開業キャンペーン事業	8,000
・糸魚川駅前通りアーケード等整備事業	60,000
・糸魚川駅周辺整備事業	335,746
・新幹線駅ジオパーク情報発信コーナー整備事業	9,100
・地元産品販路拡大支援事業	8,000
・次世代ビジネスリーダー育成事業	1,100
・新幹線高架下活用事業	10,000
・大町展望台・地下道改修事業	8,000
・海の魅力アップ推進事業	4,200
・観光誘客宣伝事業	25,246
・体験教育旅行誘致促進事業	1,500
・観光協会支援事業	31,400
・地酒の魅力発信事業	1,000
・ジオパーク推進・整備事業	45,454
・権現荘リニューアル事業	258,260
・旧国鉄北陸本線レンガトンネル活用事業	30,023
◆力を合わせ持続可能なまちづくり	2, 033, 578
・在宅介護応援りほーむ事業	10,000
・保健センター整備事業	120,000
・能生国民健康保険診療所整備事業	476,868
・大野地区簡易水道整備事業、能生谷簡易水道統合整備事業	475,623
・中山間地域集落みまもり隊事業	9,900
・地域づくり活動支援事業	4,146
・チーム糸魚川推進事業	1,500
・ふるさと糸魚川同窓会応援事業	6,000
・ごみ減量対策推進事業	14,601
・一般廃棄物最終処分場適正化・整備事業	571,846
・産業廃棄物最終処分場適正化事業	33,500
・防災行政無線整備事業	133,000
・消防・救急無線デジタル化事業	176,594

◆明日を担う人を育むまちづくり	3,044,322
・保育料軽減事業	193,200
・子ども医療費助成事業	74,619
・休日お助け保育事業	1,500
・病後児保育事業	9,000
・学童保育事業	35,835
・子ども一貫教育推進事業	1,300
・地域愛育成事業	4,500
・小学校トイレ洋式化事業	8,000
・地区公民館施設整備事業	553,394
・糸魚川市民会館リニューアル事業	1,397,828
・博物館整備事業	680,000
・体育施設設備整備事業	51,800
・能生体育館整備事業	18,200
・地域プロジェクトモデル事業	5,000
・地域づくり活動支援事業	4,146
・まちづくりパワーアップ事業	6,000

5．実質的な当初予算額の比較

区　分	平成26年度	平成25年度	比　較　等
当　初　予　算　額	297億6,000万円	306億2,000万円	△ 8億6,000万円　（△ 2.8%）
（うち平成25年3月補正予算額）	－	（29億7,150万円）	国の緊急経済対策による
補正予算額との重複を除いた実質的な予算額	297億6,000万円	276億4,850万円	＋21億1,150万円　（＋ 7.6%）